

争議部長

佐保高

筑後地區主事

吉塚謙吉

京築地區主事

牧野渡

筑豊地區主事

野澤四郎

11、役員代表挨拶

野口彦守

會長に御挨拶を受け有難く感謝する、役員であらうとも、なからうとも農民運動を打ち切らない限り諸君の團結の力を以て飽く迄闘つて行く諸君の積極援助に待つ。

12、閉會の辭

吉塚謙吉

今決議された事は明日より實行して資本主義打倒に一途邁進せんことを誓ふ。

13、萬歳三唱

(午後三時)

六、演説會

全農總本部書記

水田登

祝辭の代りに一言申上ぐる、全國的活動の立場より希望を申述ぶる、戦線統一も大事であるが周圍の状況に依り活動の方法が變らねばならぬ。産業組合、農會既成政黨は農村の氣運をとつてゐるが之等は吾實農の爲にはならぬ當然没落して行く。小作農諸君の困り方は昔の大名時代の領の制度が行はれてゐる。先租傳來で今日始めて起つたのではない。小作料をマケさせて吾々の生活を充實向上させて行かねばならぬ、中小地主が反動的に出た場合の中で益農が嫌れ者になつてはならぬ、實農の爲になる様に産業組合を動かすことにせねばならぬ。全農の活動が村の人達に喜ばれる様になる。

組合は活動の發展上人物が足りない、よい幹部を養成する爲に